

さいたま市から「体験の風をおこそう」 運動推進事業を実施します

「体験の風をおこそう」運動推進事業とは



- 独立行政法人「国立青少年教育振興機構」の委託事業
- 令和5年度で14年目の継続事業
- 事業の目的
 - ・子どもたちに自然体験や生活体験など、直接体験する場や機会を提供する
 - ・体験活動を推進する機運を高める



従来は、「都道府県単位」の採択だったが、令和5年度より「政令指定都市」単独での応募が可能となり、さいたま市の事業が採択された

いよいよさいたま市から「体験の風をおこそう」運動を推進し、子どもたちへより豊かな体験活動を提供してまいります。

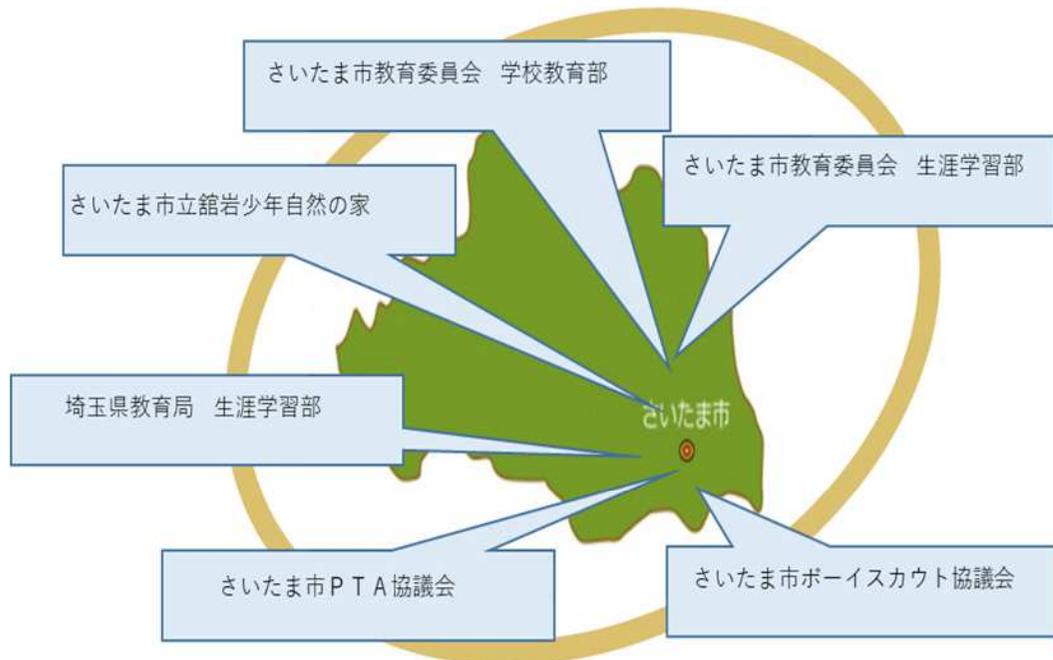
さいたま市から「体験の風をおこそう」運動推進事業構想図

趣旨

さいたま市教育委員会を中心として、青少年団体、埼玉県教育委員会等が連携・協働し、体験活動の組織的な提供やその普及啓発を促進する。また、取組を複合的に展開することで、子ども達の体験活動を推進する機運を高める。

さいたま市から「体験の風をおこそう」運動実行委員会

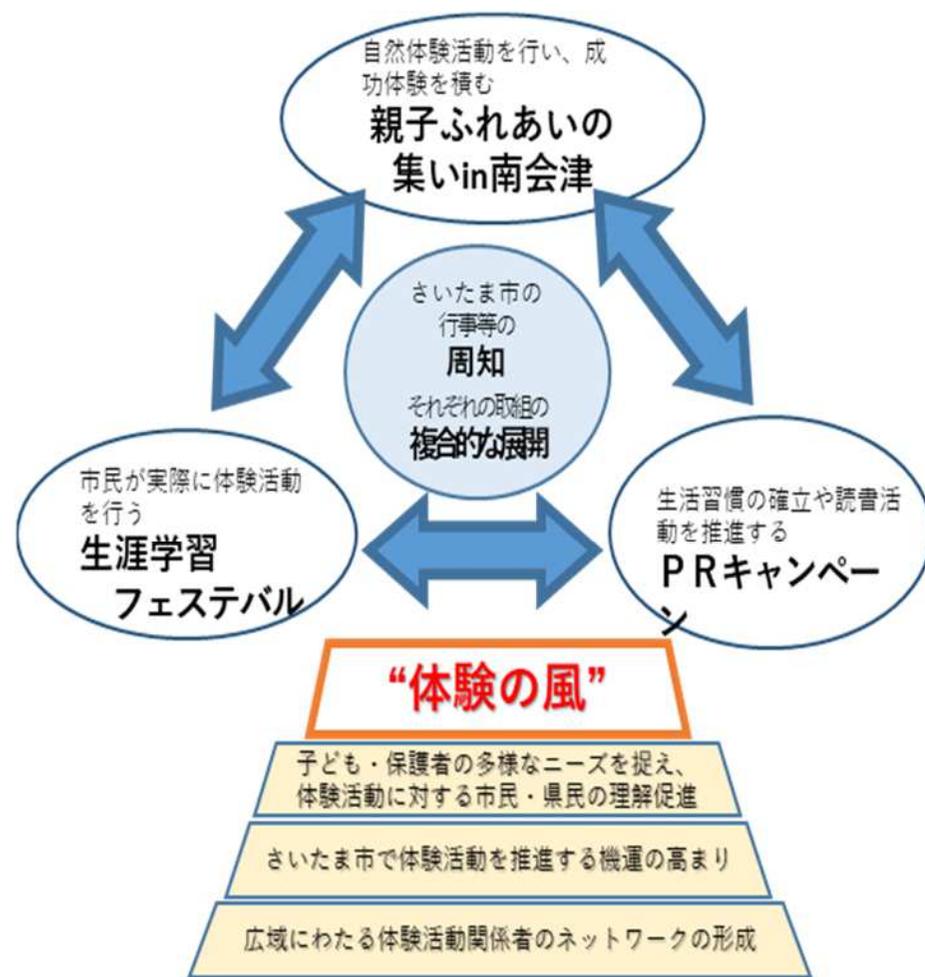
さいたま市教育委員会や青少年団体、埼玉県教育委員会等が連携・協働して、それぞれの役割を担いながら体験活動の推進や生活習慣の効果的な普及啓発を推進する実行委員会



■本事業で期待される効果



事業計画



さいたま市から「体験の風をおこそう」運動実行委員会

これまでのさいたま市における体験活動とその成果①

館岩少年自然の家における自然の教室



合併前

- 大宮市…館岩少年自然の家、たかつえリゾート、ホテル南郷
- 浦和市…赤城少年自然の家
- 与野市…六日町山の家
- 岩槻市…ホテル南郷・さゆり荘、アストリアロッジ

合併後

さいたま市立館岩少年自然の家に一本化

- 開所以来42年が経過。
- 合計176,230人が自然の家で自然体験活動を実施。
- 「責任感」「規範意識」「課題発見」等の学びの下支えとなる「非認知能力」の向上を狙いとして実施

成果（自然の教室による非認知能力の向上）

自然の教室の事前・事後に、児童生徒アンケートによる「非認知能力」の効果測定を実施

「非認知能力」に係る13項目の質問に対する肯定的回答割合	令和4年度	
	事前	事後
	87.1%	92.2%

5.1%増

※ 質問例)
「困難なことがあっても粘り強くやり通そうとしていますか」

これまでのさいたま市における体験活動とその成果②

さいたま市イングリッシュ・キャンプ

平成29年度から実施

さいたま市イングリッシュ・キャンプとは…

- 外国人講師（ALT）による指導のもとで、高校生がグループリーダーとなり異学年（小学校6年生と中・中等教育学校1、2年生）で、英語中心の活動や宿泊生活を送る。
- 令和4年度は埼玉県立名栗げんきプラザで、3日間（8/17～8/19）体験活動を実施。
（グループプレゼンテーション、ピザ作り、キャンプファイヤーなど）



成果（英語を用いて国際社会で活躍したいという意欲の向上）

イングリッシュ・キャンプの事前・事後に、児童生徒アンケートを実施

「将来、海外で英語を使ってみたいと思いますか」に対して「そう思う」（4段階評価）と回答した児童生徒の割合	令和4年度	
	事前	事後
	52.6%	72.4%

19.8%増

参加した児童生徒の声

- 様々な国の先生がいたので、日本との違いが分かり、世界についてもっと知りたいと思った。
- 英語で伝えることは難しかったが、伝わったときにはとてもうれしくなり、もっと英語を使いたいと思った。

さまざまな体験活動一覧（抜粋）

指導1課

アート・イン・スクール

健康教育課

学校教育ファーム（農業体験）

高校教育課

Pittsburgh Cross Bridge Project

さいたま市模擬国連

イノベーションプログラム

日本薬科大学海外プロジェクト

スイーツ開発（商業振興課と連携）

生涯学習振興課

未来くるワーク体験

「自分発見！」チャレンジupさいたま
小・中学校におけるチャレンジスクール

公民館

夏休み等の子ども公民館

中央図書館

さいたまKIDS郷育MOVIEプロジェクト
図書館裏側潜入ツアー

人権教育推進室

各集会所における子ども向け体験講座

博物館

学校団体体験学習

子どもわくわく体験講座（市立博物館）

昔のあそび塾（民家園）

小学生工房（見沼くらしっく館）

文化財保護課

発掘体験

うらわ美術館

本の出張授業

青少年宇宙科学館

若田宇宙飛行士関連事業



今、なぜ体験活動か

コロナ禍における体験不足

自然体験活動をはじめ、学校の内外において人や物に触れたり、活動に主体的に取り組んだりする機会が激減。



デジタル社会の拡大

教育DXの必要性が高まり、デジタルコンテンツを活用した学びの重要性を認識。同時にデジタル社会が迅速な情報伝達、利便性などのメリット。同時にリアルな体験活動が薄れている。



今こそさいたま市から！

“リアルな体験活動”の推進！

リアルな体験活動を通じて、五感を使い、感性や知識を磨くことができる

令和5年度国の支援・委託金による実施事業（1）

「親子ふれあいの集いin南会津」

※南会津町と連携して実施

実施時期：8月18日（金）～20日（日）

【2泊3日】

開催場所：たかつえスキー場及び南会津町施設

宿泊場所：南会津町の宿泊施設

募集人数：10家族40人程度

内容：藍染体験、木工作品見学、登山、
キャンプファイヤー、星空観察、
川魚さばき 等



藍染体験



木工作品の製作



イワナさばき
& 炭焼き体験

令和5年度国の支援・委託金による実施事業（2）

さいたま市生涯学習フェスティバル

日程：11月12日（日）

会場：大宮ソニックシティ

- 内容**：
- 学びに関する講演会及びワークショップ
 - 「心を潤すこの一冊」子ども100選に関する読書活動推進のブース展示
 - 若田宇宙飛行士をテーマにした「宇宙のまち さいたま」に関する展示



今後の「体験の風をおこそう」運動推進事業について

今後は、さらに関係団体と連携し、実現可能な体験活動を広く計画し実践するように準備してまいります。

具体的には…

1 実行委員会の活用

- 実行委員会において事業の趣旨説明や今年度の実施事業並びに活動計画について協議を実施し、体験活動を充実させる。
- 実行委員会のメンバーの拡充を図る。

2 PR活動

- 運動推進事業のパンフレットやクリアファイル等を配布し、PR活動を充実させる。

今後、様々な関係団体や県を巻き込んで、さいたま市から「体験の風」という新しい風を吹かせます！

